

健康医療スポーツ学部 看護学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

看護師・保健師・助産師に期待される使命は、あらゆる環境や状況の中で暮らす様々な健康状態にある人びとの「生活の質」の向上を目指し、良質なケアを創造的に提供していくことです。看護学科では、このような社会からの要請に十分に応えられるような柔軟で豊かな感性を持ち、信頼される専門的知識や技術力を備えた人材の育成を目指しています。そのため専門科目群ではどの科目も「講義」「演習」「実習」という段階を踏みながら学ぶようにカリキュラムを組んでいます。つまり「講義」で学んだ理論や科学的根拠を基に、技術や行動としてどのように展開していくかを「演習」で学び、臨地での「実習」で実践力として身につけていけるようにしています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 看護職に期待されている使命は、対象となる人々の《生活の質》の向上をめざし、柔軟で豊かな感性をもとに良質なケアを創造的に提供できることです。
- ・ 本学科は、1 年次から、他者と柔軟で共感的に関わっていけるコミュニケーション力を高め、早期に専門職としての責任と自覚を促すために、「フレッシュセミナーⅠA・B」を積極的に活用しています。学生約 25 人を 1 人の教員が担当し同一の内容で授業を展開しています。授業内容は、《自己理解を深める》《論理的な文章を書く》《ナース・ルック（看護師を知ろう）》などテーマに沿ったグループワーク、体験学習を中心に展開することで、意見を調整し、活動計画を立て、実践し、結果を評価するという能力が身につくよう配慮しています。
- ・ また、2 年次の「フレッシュセミナーⅡA・B」においても、学生約 25 人を 1 人の教員が担当し同一の内容で授業を展開しています。授業内容は、チームワークを強化するためのグループワークを実施したり、学外から認定看護師を講師として招き、キャリアデザインについて講義していただいたりすることで、将来看護師として必要となる能力の取得、将来設計などの手助けになるような機会をつくっています。
- ・ 専門科目（看護学）はまず基礎において、すべての領域に共通する理論及び技術を学び、その後各論においては原則として「〇〇概論」「〇〇方法論」「〇〇看護技術（又は演習）」の柱立てとし、学生がその科目で系統的に何を学ぶのかが想起できるようにしています。すなわち「概論」では、各領域で対象となる人々の特徴や必要な理論を理解させ、「方法論」において、成長発達の状況や健

康のレベルに応じて生じやすい健康障害、特徴的な徴候や症状、それに対応した看護の方法を、看護診断過程をたどりながら理解させます。これらの専門的知識を修得したのちに、領域に特徴的な技術が習得できるよう、各領域に「技術（又は演習）」科目を設け、専門知識・技術・態度が具体的に臨地実習で展開できるよう科目の配置を行っています。

- ・ 《統合分野》は①地域支援力の育成 ②国際的視野の育成 ③チーム医療における役割と協働の理解 ④職業アイデンティティと職業倫理の醸成 ⑤研究能力の育成一等を鑑みて科目を構成していますが、特に「チーム医療論」「チーム医療演習」では、他学科の学生とともに多職種連携の重要性および実践が学べるようにしています。
- ・ チーム医療教育では、多職種連携能力を段階的に育成するため、1年次の「コミュニケーション論」、2年次の「チーム医療論」、3年次の「チーム医療演習」を体系的に配置しています。コミュニケーション論では専門職として必要な対人関係能力の基礎を養い、チーム医療論では多職種の役割や連携の意義について理解を深めます。さらにチーム医療演習では、他学科学生とのグループワークや事例検討を通して、多職種連携を実践的に学び、チーム医療に必要な協働力を育成しています。
- ・ 地域に根差した看護実践能力の育成に力を入れています。地域社会との連携を重視し、協働による地域活動やボランティア活動へ学生が参加する機会を設けています。これらの活動を通して、子どもや家族への支援、多職種や地域住民との協働について学び、地域の健康課題を理解するとともに、地域に根差した看護実践能力の育成を図っています。
- ・ 看護学科全学生が母子保健・助産の視点を養っています。本学科では、助産師課程への進路選択の有無にかかわらず、3年次に「助産学概論」を履修します。助産の基本概念や助産師の役割、周産期医療体制、母子保健制度等について学ぶことで、妊娠・出産・育児を支える看護への理解を深め、母子保健に関する幅広い視点を養います。
- ・ 保健師課程 20 名、助産師課程 10 名については、3 年終了時点に選考試験を行います。合格した学生は 4 年次前期から看護師課程の学修と並行して保健師課程あるいは助産師課程の学修を開始します。公衆衛生看護学実習あるいは助産学実習は 4 年次の夏以降に集中して実施します。